



## 物事にはいろいろな側面がある

校長 田宮 弘宣

私たちが病院で処方してもらう薬もいろいろありますが、その中の一つに抗生物質・抗生剤というものがあります。病気の原因となる細菌を殺したり、増殖を抑えたりする薬のことです。抗生物質が発見されたのは1928年ことで、まだ100年くらいしか経っていません。抗生物質が薬として使用されるようになるまでは、ケガをしたりするとその傷口からブドウ球菌などの細菌が侵入し、全身を巡って重い感染症を引き起こし、命を落とす場合も少なくありませんでした。最初に発見されたのがペニシリンとよばれる抗生物質です。カビから発見されたという話を聞いたことがある人もいるかもしれませんね。発見したのは、イギリスのアレクサンダー・フレミングです。研究室でブドウ球菌という細菌を培養していたシャーレの一つにカビが生えてしまいました。失敗なので捨てようとする中、カビの周囲にだけ細菌が育っていないことに気付いたそうです。カビから出ている黄色い液体が細菌の増殖を抑えており、これをペニシリンと名付けたということです。

細菌を培養したりするような研究室は細かい点まできちんと整理されておく必要があります。フレミングの研究室はいつも雑然としていたとも言われています。いずれにしろ、培養中のものにカビが生えてしまうというのは、場合によっては管理がしっかりしていなかったと指摘されそうなミスです。でも、そのおかげで「奇跡の薬」とも呼ばれるものが発見されたのです。管理がしっかりしていなかったことが、発見につながったとすれば考えさせられるところです。ただし、このペニシリンを精製して純度を上げることは簡単ではなく、薬として使用するのには難しいと考えたフレミングは、論文として報告しただけでした。

数年後の1940年、細菌を殺す薬を探していたイギリスの研究者がこの論文を見つけ、その効力が極めて高いことを実験で確認します。ただ、この時も、2gのペニシリンを精製するのに、アオカビから出る液体が1t必要だったそうです。ただし、この時の状況がフレミングの時と違いました。その前年から第二次世界大戦が始まっていたのです。戦闘でケガをした兵士の多くが傷の感染で命を落としたり、ケガをした手足を切断せざるを得なかったりした中、その治療薬を作ることは国家的プロジェクトとなっていたのです。先ほどの研究者はアメリカに渡り、製薬会社がアオカビの生産やペニシリンの抽出を改良する開発競争を進め、戦場でのペニシリン使用が可能となっていきます。そしてこの時、戦場に持ち込まれたペニシリンの9割は、最近皆さんがよく聞くあの製薬会社のものでした。そう、ファイザー社です。

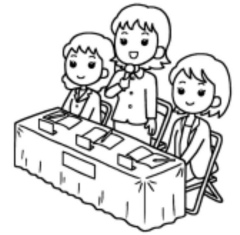
治療薬の開発を後押ししたのが戦争だったということは望むところではないのですが、その治療薬により多くの命が救われるようになったとも言えます。物事にはいろいろな側面があるということをも改めて考えさせられるところです。新型コロナウイルス感染症についても、日々の生活や学校での活動などに様々な制限があり、社会や経済の動きが停滞することもあるのですが、その中で新たな取組や活動方法などが工夫されていることは、きっと今後のよりよい生き方につながっていくと期待したいと思います。

保護者の皆様、秋も深まり、朝夕の冷え込む季節になってきました。今のところ、新型コロナウイルスの新規感染者が少ない状況が続いていますが、インフルエンザも含めて感染予防においては、特に換気が疎かになりがちな時期になります。健康管理の大切さも含めて、家庭での助言や励ましをよろしくお願いします。

日	曜	12月  主な行事
1	水	さわやかタイム～3日
2	木	★西SC来校 避難訓練（火災）
3	金	修学旅行事前指導 人権週間（～10日）
6	月	修学旅行（～8日）
9	木	修学旅行休養措置（2年） ★西SC来校
11	土	土曜授業 人権に関する講演会 門松作り
14	火	生徒集会
16	木	★西SC来校
17	金	☆松本SC来校
22	水	生徒会専門部・代議員会
24	金	終業式
25	土	冬季休業（～1月7日）

## 生徒総会(13日)

13日に放送による生徒総会が行われました。旧生徒会役員（40期）から新生徒会役員（41期）へと引き継がれました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、様々な活動が制約され、大変な苦労があったことではあると思いますが、みんなで知恵を出し合い、限られた時間や準備の中で、星中生が有意義な学校生活を送れるよう活動してくれました。新役員のみなさんも、まだ、先が見通しにくい状況ではありますが、先輩たちが築いてくれた伝統を引継ぎ、星峯中学校がさらに飛躍できるよう頑張っていきたいと思います。



## 租税に関する授業(9日)

3年生で、9日に4人の講師を招いて租税に関する授業を行いました。次代を担う中学生へ、税の意義や役割を正しく理解してもらうために、スライド等を活用し丁寧に教えていただきました。



## 創立40周年記念「星の祭典」

29日（金）

29日に創立40周年記念「星の祭典」が実施されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、プログラムを簡略化し、また学年別で実施しました。保護者の皆様へは、体育大会同様、ライブ配信で見ていただくことになりました。例年実施している合唱コンクールはできませんでしたが、1年生が「郷土」、2年生が「平和」、3年生が「生き方・進路」をテーマとし、工夫を凝らした発表を行いました。また、展示作品等は校舎内に展示し、11月5日の自由参観日に多くの保護者の方に見ていただきました。ありがとうございました。



## 大切にに使わせていただきます

1日に、一般社団法人鹿児島県法人会連合会・女性部会連絡協議会のみなさまが来校され、手作りの雑巾を寄贈していただきました。

人々の暮らしに役立つものを共同して築いていく大切さを、雑巾を使う中で感じ取ってほしいとの思いで作られたそうです。大切にに使わせていただきます。



## 人権週間(12月4日～10日)

12月4日～10日は、人権週間となっています。今なお、新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見・差別、インターネット上における誹謗中傷、いじめや虐待、外国人や障害のある人、ハンセン病元患者やその家族などに対する偏見・差別など、様々な人権問題が依然として存在しています。この機会に人権について改めて考えてみましょう。